



組合員の皆様

2016年5月20日

財政状況及び勘定未閉鎖保険年度

2016年5月13日、クラブ理事会が開催され、当クラブ及びグループ全体の財政状況を審査しました。本回覧は組合員の皆様及びブローカーの皆様に最新情報をご案内するものです。

2016年2月20日を期末とする保険年度の連結財務報告書

2016年2月20日を期末とする保険年度の連結財務報告書は理事会で承認されました。報告書は、組合員の皆様に電子メールで配信するとともに、当クラブのウェブサイトでも公表しております。過年度のクレーム実績が幾分改善したこともあり、スタンダード・クラブのコンバインド・レシオは（前年度100%に対して）95%と、適度な引受け剰余金を達成しました。

上記の実績には、ロイズにおけるスタンダード・シンジケートの当クラブ持ち分40%も含まれています。この投資はクラブにとって小さな損失を生みましたが、立ち上げたばかりのシンジケートに予測されたとおりのものです。損失はありましたが、クラブ理事会は、スタンダード・シンジケートの初年度9カ月間の成績に満足しており、当該シンジケートによって多角化がもたらされ、組合員の皆様にこれまでになかったカバーを提供できるようになったことを歓迎しています。

期末時点で投資収益率はマイナス0.9%です。普通株とオルタナティブ投資が不調だったためですが、クラブの投資不動産の再評価により相殺されました。

マイナスの投資利益率にはなりましたが、過年度準備金が若干改善したため1,000万ドルの剰余金を達成し、自由準備金は3億8,000万ドルから3億9,000万ドルに増加しました。この自由準備金の2.5%の増加は加入トン数の増加と軌を一にしています。クラブの加入トン数はこの1年で1億3,500万gtから1億3,800万gtに2%増加しました。

全体として、保険引受け実績が堅調に推移し、慎重かつ選択的な拡大が図られていることは、卓越した財務信用力と質の高い会員に裏打ちされた持続可能な価値あるカバーを提供するというクラブの戦略に沿った結果です。

../...

The Standard Club Europe Ltd

www.standard-club.com

Registered in England No. 17864. Authorised by the Prudential Regulation Authority and regulated by the Financial Conduct Authority and the Prudential Regulation Authority

Managers' London Agents: **Charles Taylor & Co. Limited**. Registered in England No. 2561548
Charles Taylor & Co. Limited is an appointed representative of Charles Taylor Services Limited,
which is authorised and regulated by the Financial Conduct Authority

Registered Address: Standard House, 12-13 Essex Street, London WC2R 3AA, UK
Telephone: +44 20 3320 8888 Email: pandi.london@ctplc.com

P&I クラス

2013/14 保険年度

成績の最も悪い保険年度でしたが、本会計年度の各種クレーム見込み額が引き下げられました。従って、当該保険年度の勘定は閉鎖され、組合員の皆様に対する追加の保険料請求はありません。

2014/15 保険年度

当該保険年度のクレームは引き続き予想以上に好調に推移しており、保険引受け実績も改善しました。追加保険料の請求は必要ないと見込んでいます。

2015/16 保険年度

保険収支は若干の不足になる見込みです。2016年11月1日が予定保険料の最後の分割支払い期日となっておりますが、それ以外の追加の保険料請求は必要ないと見込んでいます。

2016/17 保険年度

予定保険料が請求されました。2017年11月1日が最後の分割支払い期日です。

解除保険料

理事会は引き続き、当クラブの財務の健全性が維持され、今後も保険料が安定的に推移すると確信しています。そのことを組合員の皆様に明確に示すため、国際グループ内で最低水準にある解除保険料を維持することとしました。3つの勘定未閉鎖保険年度の解除保険料は、各予定保険料のそれぞれ、2014/15年度2%、2015/16年度3%、2016/17年度7%となっております。

ディフェンス・クラス

2013/14 保険年度

当該保険年度の勘定は閉鎖され、組合員の皆様に対する追加の保険料請求はありません。

2014/15 及び 2015/16 保険年度

当該両保険年度のクレーム状況は予想より順調に推移し、いずれの年度も剰余金を計上しました。追加の保険料が必要になることはないと思込んでいます。

2016/17 保険年度

予定保険料が請求されました。追加の保険料が必要になることはないと思込んでいます。

.. / ...

解除保険料

3つの勘定未閉鎖保険年度の解除保険料率はP&Iクラスと同じです。

スタンダード・ロンドン・クラス**2013/14 保険年度**

当該保険年度の勘定は閉鎖され、組合員の皆様に対する追加の保険料請求はありません。

2014/15 及び 2015/16 保険年度

当該両保険年度は順調に推移しており、追加の保険料が必要になることはないと思込んでいます。

2016/17 保険年度

予定保険料が請求されました。追加の保険料が必要になることはないと思込んでいます。

解除保険料

すべての勘定未閉鎖保険年度について、解除保険料率は0%です。これらの解除保険料率の低さは、当該クラスの財政状況と今後の保険料の安定性に理事会が大きな自信を持っていることの表れです。

戦争危険クラス

2013/14 保険年度の勘定が閉鎖され、勘定未閉鎖保険年度についても、予定外の保険料が必要になることはないと思込んでいます。解除保険料率は、いずれの勘定未閉鎖保険年度についても0%です。

以上



Jeremy Grose
Chief Executive
Charles Taylor & Co Limited

Direct Line: +44 20 3320 8835
E-mail: jeremy.grose@ctplc.com

(本回覧は、英文クラブ回覧を組合員各位の便宜のために日本語に仮訳したものです。)